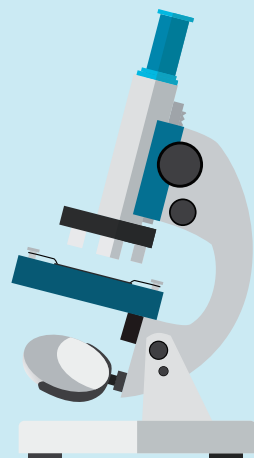


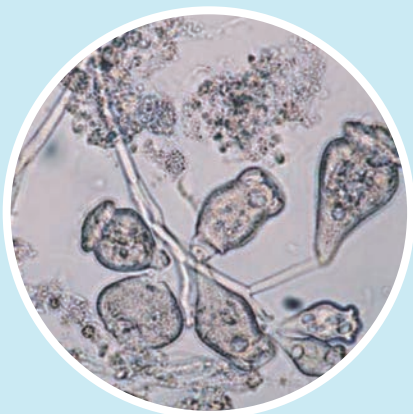
どんなび生物がいるのだろう？

水再生センターの反応そうの中には、下にあるように、けんび鏡で見ないとはっきりと様子が分からないほど小さなび生物がたくさんいます。び生物は下水にとけているゴミやよごれを食べて分解し、よごれた水をきれいにしています。この方法は、薬ざいを使わないかん境に優しい方法です。



エプスティリス

(頭の長さ0.05mmぐらい)



たくさんつながってむれになっています。

ユーグリファ

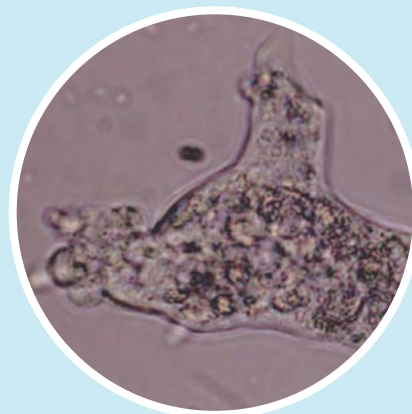
(0.05～0.1mmぐらい)



たまごの形をしたカラをもったアメーバのなかまです。

アメーバ

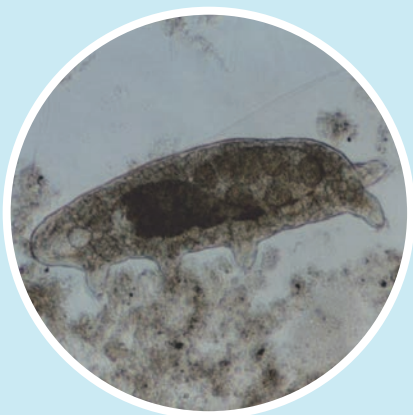
(0.05mmぐらい)



決まった形をしていません。体の形を変えながら移動します。

マクロビオツス

(0.5～1mmぐらい)



クマムシともよばれています。足が8本あり、つめがはえています。

ペラネマ

(0.05mmぐらい)



べんもうと言われる長い毛をもっています。向きを変えるときは、体を丸くします。

カエトノツス

(0.2mmぐらい)



イタチムシともよばれています。おしりが2つに分かれています。



下水道アドベンチャーWebサイトでは、動くび生物も見られるよ。
<https://www.gesuido-adventure.jp/zukan/>

